

高校・大学進学

就職・免許の取得

結婚・妊娠

仕事・子育て

思春期～若年成人期の がん患者はどうしたらいいの？



多職種連携チーム「AYA世代がん部門」が
サポートします！



新年のご挨拶

病院長 木内 良明



広島大学病院長って結構楽しいです

広島大学病院は、国民の健康と福祉の向上のために、次の理念を掲げています。

- 全人的医療の実践
- 優れた医療人の育成
- 新しい医療の探求

更に「広島大学病院の理念」を受けて、以下のことを実践します。

1. 医学・歯学・薬学・保健学の統合による新しい医療の開発と提供に努めます。
2. よく理解できる安全な医療の提供に努めます。
3. 温かい心と倫理観を持つ医療人の育成に努めます。
4. 平和につながる国際的医学教育・研究の展開に努めます。

と、基本方針を本院のホームページに明示しております。

上記2の「安全な医療の提供」は、言うまでもなく当たり前の事柄です。ところが、2014年の群馬大学医学部附属病院の手術死亡事故問題を契機に、「安全な医療の提供」が重要課題となっています。病院幹部は2日にわたって、特定機能病院(大学病院)管理者研修という医療安全に関する講習を受ける義務が生じました。さらに、医療安全を専門とする医師の配置が国から求められています。特定機能病院は、仕事量の80%以上を医療安全に尽くす医師を配置しないといけません。2020年3月末までにその配置を終えないと、特定機能病院の特典をすべて失います。これは多額の収入の減少につながりますので、すべての大学病院が医療安全を専門とする医師を求めています。2018年11月の時点で、本院も医療安全を専門とする医師の公募を行っています。募集をかけても人が集まらないと言われていたのですが、本院の場合は数名の応募者を得ることができました。有り難いことです。2020年3月を待たずして、優秀な医療安全の教授を迎える事ができるでしょう。

教授を一人増やすと当然人件費が増えます。本院がステップアップして、がんゲノム医療中核拠点病院や臨床研究中核病院になるためには、さらに多くの人員を抱えることが必要です。診療単価を縦軸(上に行く方が高くて良い)に、在院日数を横軸(右に行く方が短くて良い)にしたセグメンテーショングラフを作ると、本院はすべての診療科が右上のセクションにあり、つまり「イケてる」病院であることが分かります。全国の大学病院のデータと比べても病床100床当たりの収益額は、いずれの期間においてもメダルを逃す順位に落ちたことはありません。ところが、診療材料費の支出も全国でトップクラスです。本院が目指す方向は、収益を増やすよりも診療材料費の削減です。診療材料費を削減し、浮かしたお金で人件費の増加を埋めたいと思います。

病院長に就任して9か月の間に色々調べました。費用のうち固定費の大部分を人件費が占めますが、40%前後と決して悪くありません。一方、変動費の主要部分は医薬品費と診療材料費です。医薬品費は全国と比べて概ね良好でした。診療材料費は支出に占める比率から見ても、全国平均より高いことが明らかです。その原因として、購入システムに問題があることが分かりました。値引き交渉が十分なされていないために、定価以上の価格で購入しているものもあります。また、

患者さんの給食材料費や寝具費が全国平均より圧倒的に高い事も分かりました。健全な病院経営の実現には、事務系の運営支援部、診療支援部、看護部、薬剤部、中央診療施設などすべての部門の協力が必要です。現在は、購入システムの改善に取り組んでいます。

最近ではありますが、看護部長とともに病院内をラウンドし始めました。そこでまた新たな問題が見つかります。外国人患者が増え早急な対策が必要なことなど新しいことがどんどん出てきて、病院長職って結構楽しいところがあります。2019年の広島大学病院の目標は、問題を解決しながらの更なる前進です。今年もよろしくお願ひします。

がん治療センター 「AYA世代がん部門」をご存知ですか



AYA世代がん部門・部門長 いちのへ 一戸 辰夫

AYA世代がんの特徴は？

昨年の4月、広島大学病院はがん治療センターに「AYA世代がん部門」を新設しました。AYA (Adolescents and Young Adults) とは、思春期と若年成人期を指す用語で、小児期と壮年期の狭間にあり、進学・就労・婚姻・出産などのライフイベントを連続して経験する、人生で最もダイナミックな世代です。AYA世代の定義には統一されたものではありませんが、最近では国際的に15歳から39歳までの年齢層を対象とすることが一般的となりつつあります。この世代に発生する悪性腫瘍は、他の世代のがんと比較して稀少性が高く、経験が蓄積されにくいいため、小児がんや成人がんと比較して標準治療法の確立が遅れており、適切な医療を受けにくいことが多いことが多くの研究者によって指摘されています。また、発達・成長段階に応じて、患者さんやご家族が求める医学的・心理的・社会的ニーズが多様なため、十分な支援体制が構築されていないことも問題です。特にこの世代の患者さんにとって、抗腫瘍薬や造血幹細胞移植などによってもたらされる生殖機能の喪失は、その後の人生設計に大きな影響を与えます。このため、事前にカウンセリングや配偶子温存の機会を提供することが求められています。わが国におけるAYA世代がんの発症は、全てのがんの2%程度で、年間約20,000人程度と推計されています。

	小児	AYA世代		
	0~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳
1位	白血病(38%)	白血病(38%)	胚細胞腫瘍・性腺腫瘍(17%)	女性乳がん(22%)
2位	脳腫瘍(16%)	胚細胞腫瘍・性腺腫瘍(17%)	甲状腺がん(12%)	子宮頸がん(13%)
3位	リンパ腫(9%)	リンパ腫(13%)	白血病(11%)	胚細胞腫瘍・性腺腫瘍(8%)
4位	胚細胞腫瘍・性腺腫瘍(8%)	脳腫瘍(10%)	リンパ腫(10%)	甲状腺がん(8%)
5位	神経芽腫(7%)	骨腫瘍(9%)	子宮頸がん(9%)	大腸がん(8%)

(国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」より)

AYA世代への支援策は

海外では、このような課題を解決するため、20年前頃より「AYA世代がん」という専門領域の必要性が認識され、現在では、診療や長期フォローアップに関わるガイドラインも公表されています。わが国においても昨年3月、閣議

決定された第3期がん対策推進基本計画の中で、ようやくAYA世代のがんに対する適切な情報提供・支援・診療体制の整備が謳われるようになりました。その中でも、重点的に取り組むべき施策として、AYA世代がんに関わる医療資源の集約化、そして生殖機能の温存に関する情報・相談体制の充実が挙げられています。AYA世代がんに対する支援においては、治療および治療後の経過を通じて、刻々と成長を重ね、生活環境も変化していく患者さんに常に的確な支援を提供していくため、重層性に富んだチーム医療が求められます。



がんボードの様子

AYA世代がん部門の立ち上げ

このような背景のもと、本院のがん治療センターでは、全国の大学病院の中でもいち早く、AYA世代がんを専門とする多職種連携チームとして「AYA世代がん部門」を立ち上げました。現在は、16診療科と緩和ケアチームで構成しています。医師・歯科医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカー(MSW)・チャイルドライフスペシャリスト(CLS)・心理士・栄養士など病院全体の人的資源を総動員して、以下のような目標を掲げて活動しております。

- 診療部門横断的な全人的AYA世代がん治療体制の構築
- AYA世代がんに対する定期的ながんボード^{*1}の開催
- AYA世代がんに対する意思決定支援体制の充実
- AYA世代がんにかかわる情報収集・提供体制の充実
- AYA世代がんにかかわる臨床研究の推進
- 就学・就労^{にんようのう}にかかわる相談支援体制の充実
- 生殖機能(妊孕能)温存にかかわる相談支援体制の充実
- 治療終了後の長期フォローアップ(LTFU)体制の構築
- AYA世代がんコーディネーターの育成

これらのうち、妊孕能に関わる相談支援については、広島県内の配偶子保存施設のネットワークである「HOFNET(広島がん・生殖医療ネットワーク)」との連携体制を構築しています。がん相談支援センターまでお気軽にご相談ください。また、毎月第1・第3火曜日に開催しているAYA世代がんがんボードでは、治療方針にとどまらず、教育支援・妊孕能カウンセリングなどAYA世代がんの患者さんが抱える幅広い問題を多角的に検討し、チームとして支援プランの提案を行っています。スタッフ一同、より多くの患者さん・ご家族に質の高い医療を届けるお手伝いができるよう、国内を先導できるAYA世代がんの治療・支援センターに成長していきたいと念じております。私たちのチームの活動については、がん治療センターのホームページをご参照ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/cancer/aya>

※1 がんボードとは

手術、放射線療法、化学療法にかかわる専門医師や治療の支援を行う専門職が参加し、がん患者さんの治療方針や支援方法について意見交換・共有・検討・確認をするカンファレンスを意味します。



AYA世代がん部門のみなさん

栄養管理部
情報

災害に備えていますか？



担当した管理栄養士

災害が発生すると、ガスや水、電気など私たちの生活に欠かせないライフラインが途絶えることがあります。その際、食事の備えとなるのが、「卓上カセットコンロ」「ペットボトル水」「常温保存できる食料」です。

ガス



卓上カセットコンロ

水道



ミネラルウォーター

電気



常温保存できる食料

どのくらいの量を備蓄すればいいの？

食料は1人あたり3日分、水は1人あたり3ℓ分を備蓄しておくといわれています。災害の備えとして備蓄するのではなく、普段の生活の中で利用しながら、無理なく備えましょう。

栄養バランスを考えて備蓄しよう！

災害時には食料が手に入ったとしても、心と体を満たす十分な栄養素が摂取できないことが予想されます。そのため、普段から自分や家族、身の回りの人にあった食事の備えが大切になってきます。

エネルギーになる



(その他)
アルファ化米、ビスケット、
コーンフレーク など

体をつくる



(その他)
大豆水煮缶、高野豆腐、魚肉
ソーセージ など

体の調子を整える



(その他)
干し野菜、野菜缶、フリーズド
ライみそ汁 など

【乳児・アレルギー】

ミルクや離乳食、アレルギー対応食等は、災害時に入手が困難になります。お子さんの成長に合わせたものを備えておくことで安心です。また、アレルギー対応食は、ご自身にあったものを備えておきましょう。



【高齢者】

避難所では、一人一人に合わせた形態の食事提供は難しくなります。必要に応じて、市販のレトルト介護食をうまく活用しましょう。



病院で働く人に ズームイン!

FILE 03 臨床検査技師
まいだ しょうへい
毎田 昇平 (26歳)



なぜ臨床検査技師に

高校生の時に、腹痛や吐き気、高熱で入院しました。3日~4日原因が分からず不安でしたが、病気の原因がわかったことでとても安心しました。このことをきっかけに病気の原因を見つける手助けができる仕事がしたいと思い、臨床検査技師を目指して大学で4年間勉強をしました。

仕事の内容は

臨床検査技師の仕事は大きく5分野です。血液や尿など患者さんから採取された検体を検査する検体検査、心電図や超音波検査などの生理検査、臓器や組織から癌細胞の有無などを調べる病理検査、病原菌を特定する微生物検査、血液型判定など輸血に関する業務を行う輸血検査があります。現在、67人の技師が働いています。私は入社3年目で、検体検査の血液検査室に所属しています。血液中の赤血球や白血球、血小板の数を測定したり、顕微鏡で血液中に白血病細胞などの異常な細胞が出現していないか観察しています。

心掛けていることは?

検体検査では、いろいろな要因(食事や薬など)が検査結果に影響を与えることがあります。そのため、迅速に報告するだけでなく、それらの影響を受けていないかどうかに注意して検査結果を報告しています。

うれしかったことなどエピソードは?

臨床検査技師は病気の第一発見者になることがあります。検査時に異常値に遭遇した場合には、速やかに医師へ報告します。そのことによって、先生から感謝の言葉をいただいた時には、診断への手助けができたことが実感でき、とてもうれしいです。

今後の夢は?

去年7月、二級臨床検査士(血液学)と緊急検査士の資格を取得しました。今後は、より専門的な知識を習得するとともにさまざまな検査分野を経験し、最終的には幅広い知識を持った臨床検査技師として、患者さんの病気の原因を見つける手助けをしていきたいと思っています。



患者満足度調査へのご協力ありがとうございました



広島大学病院では、患者さん一人ひとりにとって、体にも心にも優しい医療の実現をめざしています。このため昨年11月、患者さんの生の声を聴きたいと患者満足度調査を行いました。

入院患者さん493人、外来患者さん1,034人の方から回答をいただきました。本当に多数の方にご協力をいただきありがとうございました。今後、今回の回答の結果を踏まえて、より患者さんに満足していただける病院となるよう努めてまいります。

催しのご案内 (2019年1月~3月)

がん治療を支える **患者サロン** 場所：臨床管理棟3階 3F2会議室

—がん治療を支える— **がん治療と運動**

1月17日(木) 13:30~14:30 講師：理学療法士 廣田 智弘

甲状腺がんの基礎と治療

2月21日(木) 13:30~14:30 講師：頭頸部外科 医師 上田 勉

最新! **がんゲノム医療と免疫療法について**

3月20日(水) 15:00~16:00 講師：がん治療センター長 医師 杉山 一彦

患者・家族が同じ目線で **がん患者おしゃべり会**

1月22日(火) 13:30~14:30

2月26日(火) 13:30~14:30

3月26日(火) 13:30~14:30

会場：診療棟2階 健康情報プラザ

いずれも問い合わせは：
がん相談支援センター ☎082-257-1525